

月刊島民

中之島

Vol.15 2009 10/1

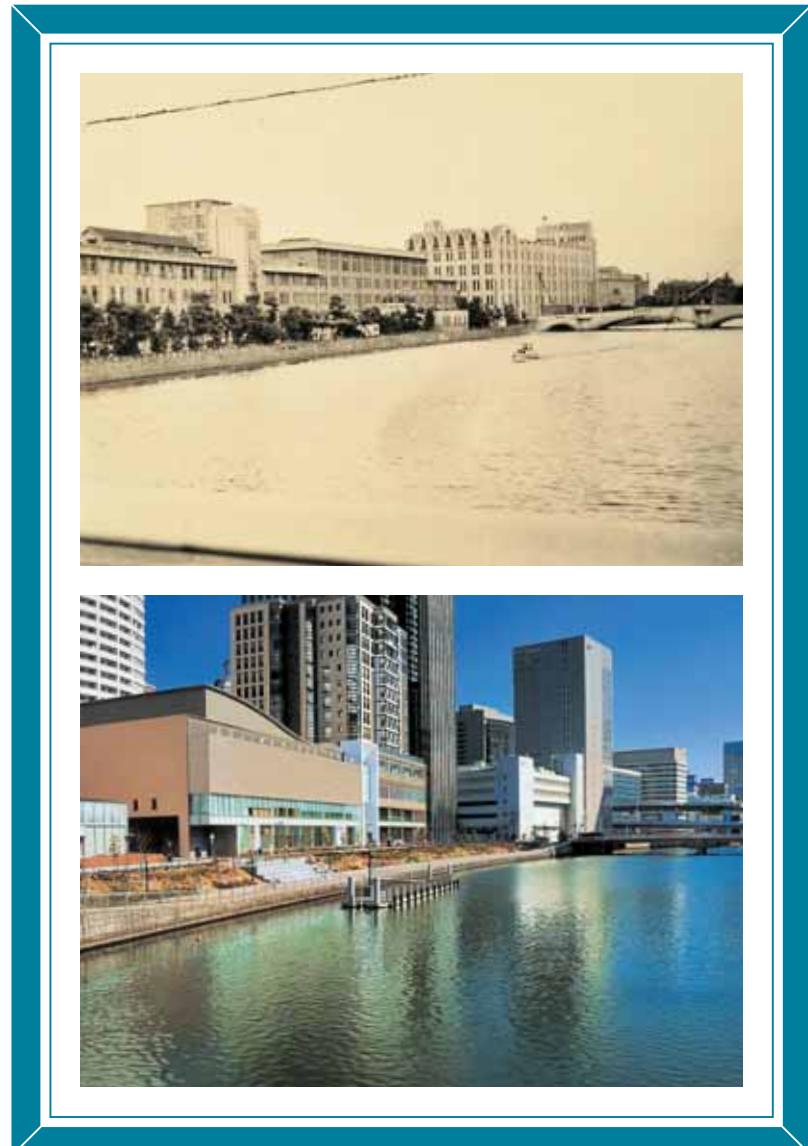
橋を渡る人の「街事情」マガジン



シマは絵になる！



魅せられた人たち。



上は昭和15年ごろ、玉江橋から見た堂島川の風景。アーチ状の窓の「中央電信ビル」は現在NTTのビルに、その手前の阪大病院は「ほたるまち」になっている。レンジャー前田「お爺ちゃんと俺の二人展」より

島の風景に

中之島の風景は絵どころを説く。
川や橋があるし、古い建物もある。
カメラや絵筆を手にシマの風景を追う人たちに訊いてみた。
「このシマのどんなところに惹かれるんですか?」

取材・文／大迫力

松本創

若狭健作(以上本誌)

安心・正直・新鮮・おいしい
産地の“旬”を中之島へ直送!



大阪マルシェ「ほんまもん」

名シーンいっぱいの現代版「なにわ百景」。

嶋津和運

Kazuyuki Shimazu



しまつ・かずゆき
大阪の風景の水彩画は今後も増えていく予定のこと。
現在もう一つの終生のテーマ、油彩で描く
「能の世界と女性」のなにわ編を制作中。
展覧会依頼などの連絡は「ワイヤート」
(☎ 06-6311-5380)まで。



中之島を描いた中の一枚である「淀屋橋と日本銀行」。水辺を歩く清々しさが身体的にも感じられる作品だ。



島の風景でつながる「お爺ちゃんと俺」。

レンジャー前田

Ranger Maeda



大江橋たもとで一棟だけ目立っていた堂島ビル。現在は新しい外装が施され、阪神高速も通り、まったく様変わりしている。

「ただの景色じゃなく、ここにはお爺ちゃんの考えたこと、メッセージが詰まっていると思ったんです。真に前田さんは『啓示』を受けた。

「お爺ちゃんの考えたこと、メッセージもそれを感じてみたい。同じ場所に立って、同じ目線でね」

だが、撮影年は昭和15年（1940）頃というから70年も前。建物や看板、道路や植栽の様子もすこり変わっている。場所の特定は難航し、作業は滞った。

そんな頃、脳の腫瘍が発覚する。手術しても失明、最悪なら死亡といわれた大病を、しかし前田さんは奇跡的に乗り切った。元自衛隊レンジャー部隊員という屈強な肉体も物を言つたが、「生かされたのはやり残した使命があるから」だ。という。それを転機に撮影は加速、ネット上で「お爺ちゃんと俺の二人展」と題して発表し始めた。

中之島では玉江橋からの眺め、堂島大橋や剣先公園、大江橋との堂島ビル…。「レンズ越しに眺める風景は、俺とお爺ちゃんをつなぐタイムトンネルなんです」。

15年ほど前、大阪各地を描いて回っていた際、知人の紹介をきっかけにNHKで嶋津さんの仕事を見つけられた。「なにわ百景」というシリーズ名もその取材時に生まれたものだという。「最初はシリーズにするつもりはなかったんです。描く理由？ 街への奉仕の気持ちと言つたらいいかな」。昨年春、『能の世界と女性』で開かれた展示会では、80メートルの壁に亘って80点の作品が展示されたのをはじめ、展覧会も行われている。

すでに108点を数える「なにわ百景」だが、今後も描き続けていきたいと嶋津さん。「水というものが心の支えになつていて」との言葉に、島民としては中之島の絵が増えていくことを期待してしまう。



玉江橋の南詰めにあるカメラスタジオ兼プリント・ラボ。中之島での撮影会は1~2カ月に1回のペースで開催。所要時間2時間程度。参加費・撮影場所などは毎回異なるので、詳細はHPで確認を。http://mogucamera.net/問い合わせ☎ 06-7504-9459(写真とプリント社)



カメラ片手に探す、いつもと違うシマ模様。常安橋南西にあるプリント・ラボ「mogu camera」では1~2カ月に1回、中之島周辺で撮影会を開催している。ある時は中央卸売市場が舞台。街なかとは違った活気や景色は「どこを撮つても絵になる」と小倉さん。朝7時からの撮影会には出勤前に参加した人もいたそう。またある時は「ザ・中之島」なオフィス街の夜景をたっぷり。ラボがある土佐堀を出発し、梅田までを振り歩く。

撮った写真はラボでプリント。ここはぜひデジカメではなく、フィルムカメラを使ってほしい。「フィルムで撮つたものをプリントして見ると、デジカメ写真とは違つぱり出るんです」。自分で見る、ファインダー越しに見る、プリントして見る、シマの風景を3度も味わえる名企画は、毎回募集人数が5~6人のため、抽選になることもしばしば。ホームページにアップされる情報をお楽しみに。

シマを描くなら、撮るならこんな教室。



野外スケッチは全6回の連続講座。月2回のペースで行われており、いつから参加しても良い。初心者には道具選びからアドバイスをしてくれる。所要時間は1回3時間程度で、事前に電話予約が必要。参加費6,000円(全6回分前納)、無料で見学参加も可能(要予約)。問い合わせ☎ 090-2195-7748 ◎10月のスケジュール 10月8日(木)10:00AM~集合場所: 淀屋橋駅 10月22日(木)10:00AM~集合場所: 大阪市中央公会堂第8会議室

絵画教室 絵を楽しむ会SAWAI

初心者の方はまず気軽に見学しに来てください。

私が講師です。澤井 武さん

3

年前、写真家のレンジャー

前田さんは母から古いアル

バムを見せられた。早く亡くな

った祖父が趣味で撮っていた戦前

の大坂や京都。中之島らしい風景

もあった。初めて見たそれらの写

真に前田さんは「啓示」を受けた。

飛び出せ、島の名建築。立体絵はがきの世界。

湯川敏男

Toshio Yukawa



ゆかわ・としお
「中之島には立派な建物や催事が多くて
まさしく僕にとってほしの場でしたね」と島への思いも語別。
湯川さんも出品する『水都大阪えはがき展』は10月12日(祝)まで
中之島図書館で開催。ダウノロードして組み立てられるサイトも公開中。
<http://oshiboritai.blog92.fc2.com/>



大阪市役所旧庁舎、
川口基督教會などの
建築物のほか、
アクアライナーや
屋形船といった中
之島ゆかりの作品
は16点にのぼる。

識するようになつたんです」。
愛機は、昔から憧れだった19
60年代製の「OLYMPUS-PEN」。
フィルムはモノクロにこだわる。
ハーフカメラだから質感は粗め。
現像段階でも白黒の階調を強め、
あえてざらついた画面に仕上げて

いる。
「僕が記憶に導かれて撮った『今』
の風景が、誰かの新たな記憶にな
る」。

おかもと・やすし
安治川から天保山まで撮り歩いた写真をグループ展に出品。
作品はHP「モノクローム・シンドローム」で。
<http://iyaswan.com>

中央公会堂、中之島図書館、
日銀大阪支店：島の名建築
を「飛び出す」作品に。一風変わ
った絵はがき大のペーパークラフ
トを手がけるのは、湯川敏男さん。
堂島でシステムエンジニアとして
働くかたわら、30年ほど前から全
国各地のお城や寺社仏閣などを撮
り歩き、人知れずコツコツと製作
してきた趣味の人だ。

まず建物正面から撮影、といっ
ても一枚に収めるのは難しく、何
十枚も細かく撮り分ける。その後、
パソコンで画像を合成して、切り
取り線や折り線を加える。切れ目
を入れ、折っていくと建物が立ち
上がってくるから不思議だ。

福島区で生まれ育った湯川さんは、
中之島の風景にのめり込んだのは、
つい最近。大阪の風景を絵はがき
にする活動「大阪えはがき研究会」
への参加がきっかけになった。「北
海道の五稜郭や沖縄の首里城にま
で足を運んだりもしましたが、す
ぐ近くにこんな面白い素材がある
なんて気づかなかつた」。メンバー
から情報をもらい、以来、石原時
計店や朝日新聞ビルなどの作品を
発表し、合同の展覧会にも出品す
るようになった。運営のデビュ
ーを果たした湯川さん、夢は大阪

なんて気づかなかつた」。メンバ
ーを果たした湯川さん、夢は大阪
みやげとしての商品化だとか。

完成は…22ページへ!



5.さあ本番!

水彩紙の下に下書きを敷き、ライト
ボックスで写し取りながら描く。ペ
ンは「シグノ0.38mm」(150円)。絵
具の色は表紙に合わせて。

4.そろそろ下書き

B4かA3のコピー用紙にシャーペ
ンで基本は透視図法だが、「歪めて
描く場合もありますよ。9号で描い
た天神橋みたいに」。目に見える物を
「描かない」方法もあるとか。

3.ラフ作成

ボールペンでガリガリと。見出しが
入る部分やテキストの収まりも考え
つつペンを走らせる。

2.構図を決定

現地でスケッチ、もしくは喫茶店な
どでサラサラと。橋のほぼ全景を入
れるのが意外に難しいとか。「このス
ケッチをどう紙に落とし込むか、
ケール感をどう紙に落とし込むか、
腕を試される感じ」。

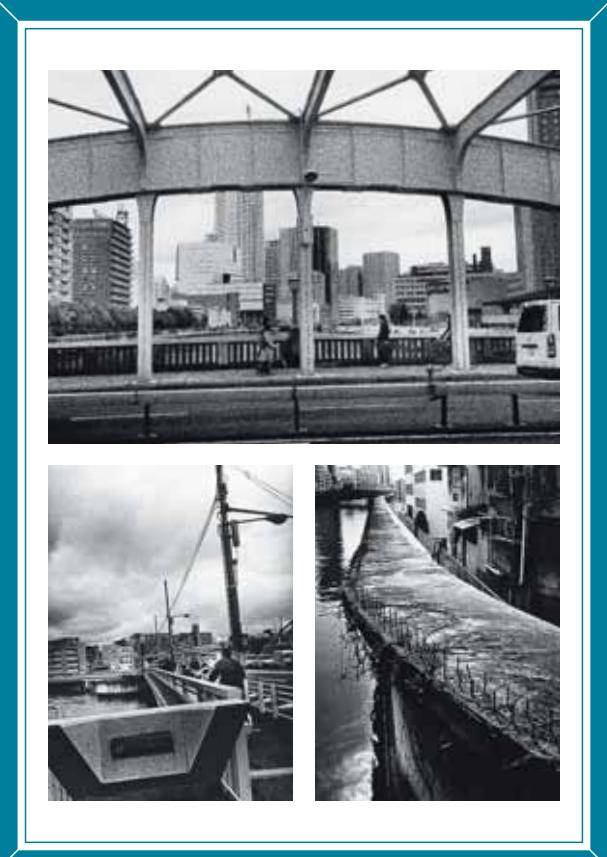
1.まずは現地取材

4方向から遠景・近景を撮るのが基本。
上れるビルがあれば俯瞰の図、橋脚
など構造が特徴があれば下から。周
辺の地形や建物配置も必須。「100枚
ぐらい撮ることも」。

失われた原風景、モノクロに封じめる。

岡本康司

Yasushi Okamoto



「リベットの1本1本まで魅力的」という堂島大橋（上）。『泥の河』の舞台となった端建蔵橋（はたてくらばし）は雨の日を狙った1枚（左下）。筑前橋から眺めた堤防（右下）には「すき間の風情」が滲む。

力

メラマンの岡本康司さんは
月に数回、中之島を西へ西
へと歩く。重厚なビルや古い橋も
撮るけれど、自然と心惹かれるのは、
草むした堤防脇や廃材が積まれた
倉庫の裏、あるいは路地の奥とい
つた“すき間”的風情。そこに自

分の原風景を重ね見てしまう、と
いう。

始めたのは、宮本輝の『泥の河』
がきっかけだった。「それまではオ
フィスビルや図書館、公会堂など
が小さな工場を営んでいた。トタ
ン板で囲つた暗がり、光の中に舞
うほこり。今はもう失われ、記憶
が底だけに残る風景をシマに探し

始めたのは、宮本輝の『泥の河』
がきっかけだった。「それまではオ
フィスビルや図書館、公会堂など
が小さな工場を営んでいた。トタ
ン板で囲つた暗がり、光の中に舞
うほこり。今はもう失われ、記憶
が底だけに残る風景をシマに探し
始めたのは、宮本輝の『泥の河』
がきっかけだった。「それまではオ
フィスビルや図書館、公会堂など
が小さな工場を営んでいた。トタ
ン板で囲つた暗がり、光の中に舞
うほこり。今はもう失われ、記憶
が底だけに残る風景をシマに探し

編集部・綱本武雄の仕事に密着した。

『月刊島民』の誇る人気連載「橋の話をしよう」。
取材文 松本創(本誌)

「いまやシマ随一の『橋画伯』となつた
綱本画伯に密着! メイキング・オブ・
『橋の話』」

今回のお題は田蓑橋。聞いた瞬間、「う
つ地味だなあ」と綱本は思わず唸つた。見
た目の特徴が少ない「丸坊主」橋。とすれば、
アンダルに凝るか、周囲の風景を借りて場所
性を強調するか…。デジカメを構えるその横
顔は真剣。「構図もう決まった?」などどう
かつに声をかけられない。

中之島は絵「□」を説く、と綱本はいう。「橋
が撮れた。橋の南詰めには、あの旧ダイビル。
そのあたりが構図のポイントか。絵□の口の
乏しい身ながら、カリカリとベンを動かし続
ける綱本の背中に、できあがりを思い描く。

幸いにして今回は斜め上から見下ろす写真
が撮れた。橋の南詰めには、あの旧ダイビル。

そのものの造形や周囲の建物の面白さはもち
ろん、水面が近いから天候や時間帯による光
の加減とか、植栽の季節感とともに工夫できる。
描きがいがある街だと思いますよ。」



1.まずは現地取材

4方向から遠景・近景を撮るのが基本。
上れるビルがあれば俯瞰の図、橋脚
など構造が特徴があれば下から。周
辺の地形や建物配置も必須。「100枚
ぐらい撮ることも」。



2.構図を決定

現地でスケッチ、もしくは喫茶店な
どでサラサラと。橋のほぼ全景を入
れるのが意外に難しいとか。「このス
ケッチをどう紙に落とし込むか、
ケール感をどう紙に落とし込むか、
腕を試される感じ」。



3.ラフ作成

ボールペンでガリガリと。見出しが
入る部分やテキストの収まりも考え
つつペンを走らせる。



5.さあ本番!

水彩紙の下に下書きを敷き、ライト
ボックスで写し取りながら描く。ペ
ンは「シグノ0.38mm」(150円)。絵
具の色は表紙に合わせて。

古くは12世紀にノートルダム寺院が創建されたパリ発祥の中洲シテ島、あるいはローマの中洲ティベリーナ島にも由緒がある。国内では福岡の一大歓楽街「中州」もあれば、宇治上神社・平等院という大社・名刹に挟まれた宇治の中洲には古くから十三重の塔が設けられ「塔の島」と呼ばれた。Islandが孤立・絶縁を意味する「isolate」「insulate」などと同語源の語根「insul-」をもつことからもわかるように、水域に囲繞された「島」という空間は周辺から切り離された独立区としての性格を帶びてきただが、一方で中洲は島でありながらも陸域から川一本でしか隔てられていない。中洲という「身近な独立区」の性はいかにも逆説的であり、興味深い。

軍艦に見立てられたシマ

大阪の中之島もその例に漏れることはないが、「世界の名中洲」には見られないような特徴的な歴史が一つあった。それは中之島公園に今年4月まで立てていた軍艦「最上」のマストと艦橋である。明治41年（1908）に製造された「最上」は実戦に供されるも、わずか20年で廃艦となり、その功績を称えるべく、マストは廃艦翌年に在郷軍人会大阪連合会によって公園に設置された。この措置の背景となつた思想の

「『ブラック・ジャック』には、生命に対する手塚の二面性が表れていると思うんです」

「月刊島民ナカノシマ大学」の第2回講座は、医師で作家の久坂部羊さんが登場。現代医療のあり方、生きること・死ぬことの「常識」に一石を投じ続ける医療ミステリーの書き手であり、本誌では連載エッセイ「中之島ふらふら青春記」でおなじみの島民作家である。

テーマは「手塚治虫に学ぶ“生きること、死ぬこと”」。大阪大学医学部出身の久坂部さんにとって、手塚は同門の先輩に当たる偉大なマンガ家。特に、医学生時代に連載を読んだ名作『ブラック・ジャック』には、さまざまな思いがあるという。

「甘ったるいヒューマニズムだけでなく、ニヒリズムも込められた作品。手塚治虫という人は、誰よりも命を慈しむ一方で、生のみに執着する虚しさを感じていたと思う。その二面性が面白いんです」。医療や生命について手塚はどう考え、何を伝えようとしたのか。作家の目で読み解き、語ってもらう。

評価はともかく、ここには先人の大胆かつ巧妙な審美眼が偲ばれる。つまり、在郷軍人会は中之島そのものを巨大な船に見立てたのである。何と鋭く、そして豊かな想像力ではないだろうか。

すでに我々の目の前に現れ出ている景観に何らかの価値を見出し、そこに新たな意味を与えることはいたつて楽しく、そして創造的である。「見立て」という国民的美学を歴史的にもつ日本人にとってはお家芸の1つとさえ言えるかも知れない。無論、見立てには諧謔的なだけのものや一過的な笑いを誘うだけの代物もあるが、中之島における先人の美学はさまざまな社会の風雨に晒されながらも80年という年月に堪

えうるだけの永続性を確かに持つていた。残念ながら今春撤去されることとなつたが、中之島という特徴的な地形が織り成す風景の見方を我々に生き生きと見せ続けてくれたことは確かであろう。

岡田昌彰（近畿大学理工学部社会環境工学科准教授）

橋や川の水辺だけではない。シマの地形や歴史を背景に、こんな見方もできるのでは？ 「景観」の専門家からの提言。

景観「見立て」の美学

ありし日のマスト。中之島の東、剣先公園で高さ30mを超える威容を誇ったが、2009年2月に解体され、現在は呉市海事歴史科学館に移設されている。（2008年6月編集部撮影）

これが、新天地へと旅立ったマストが大阪に遺した最後のメッセージではないだろうか。

これが、新天地へと旅立ったマストが大阪に遺した最後のメッセージではないだろうか。

おかだ・まさあさ

近畿大学理工学部社会環境工学科准教授。専門は景観工学、土木史、近代化遺産研究。主にテクノスケープ論、景観評価論、形成論、産業廃墟景観論、景観・空間価値の社会学論、近代化遺産調査研究などを著書に『テクノスケープ（同化と異化）』（鹿島出版会／2003年）など。茨城県日立市生まれ。

11月講座 久坂部 羊（作家・医師） 「手塚治虫に学ぶ“生きること、死ぬこと”」



「手塚治虫に学ぶ“生きること、死ぬこと”」
講師／久坂部 羊（作家・医師）
日時／11月5日（木）7:00PM～（開場6:30PM）
会場／大阪俱楽部（淀屋橋駅下車徒歩5分）
受講料／1,200円 定員／250名
主催／ナカノシマ大学事務局 協力／大阪俱楽部

お申し込み方法／お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。
〒550-8790 郵便事業（株）大阪西支店 私書箱181号
「月刊島民ナカノシマ大学11月講座」受付係
FAX.06-6445-0071 http://www.nakanoshima-univ.com/
申し込みは10月31日（土）必着。受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※ナカノシマ大学に関するお問い合わせは事務局まで06-4799-1340

◎大阪が誇る紳士のサロン「大阪俱楽部」
会場となる大阪俱楽部は大正元年に創設された歴史ある紳士俱楽部。
関西では最も古い由緒正しきサロンは、“大大阪”と呼ばれた時代の雰囲気を今に伝える。
講演終了後には館内の見学も予定されています！

募集要項



大阪大学
21世紀
懐徳堂

大阪大学中之島講座 秋季講座

今年で41回目を迎える、大阪大学による“老舗”的市民講座。今回の統一テーマは「近未来とどう付き合うか～次世代社会の光と影～」。さすがはシマの最高学府だけに、内容も多彩かつ専門性に富んでいる。
◎問い合わせ:大阪大学21世紀懐徳堂 中之島講座担当 ☎06-6850-6443

11月	6	金	6:30PM～8:00PM	藤原 融（情報科学研究科教授）「ネット社会のセキュリティ」
11	水	6:30PM～8:00PM	石黒 浩（基礎工学研究科教授）「ロボットに人を感じる～ロボットは人にどこまで近づけるか」	
18	水	6:30PM～8:00PM	西川 敦（基礎工学研究科准教授） 関本貢嗣（医学系研究科准教授）「これからのロボット手術～ロボットは医者にどこまで近づけるか」	
20	金	3:00PM～4:30PM	宮原秀夫（（独）情報通信研究機構理事長／前総長）「情報化社会の光と影」	
25	水	6:30PM～8:00PM	永妻忠夫（基礎工学研究科教授）「夢の次世代通信」	

会場／大阪大学中之島センター

申込期間／10月16日(金)～10月23日(金)
受講料／1講義1,500円(全5講義セット6,200円)
※テキスト代・消費税含む

大阪大学21世紀懐徳堂ホームページから申込書をダウンロードするか、大阪大学中之島センターなどで配付されている受講申込書に必要事項を記入し、申込期間内に郵送・ファックス・Eメールいざれかで「大阪大学21世紀懐徳堂 中之島講座担当」宛にお申し込み下さい。〒560-0043 豊中市待兼山1-16 FAX.06-6850-6449(平日9:00AM～5:00PM) info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp



レクチャー&対話プログラム[ラボカフェ]

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェワークショップを行っている、
京阪電車中之島線なにわ橋駅地下1階の「アートエリアB1」。10月はこんなラインアップ。

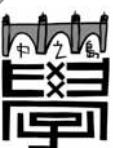
10月	7	水	7:00PM～8:30PM	学生プレゼンテーション「阪大生による駅でのアートイベントの可能性」 定員:40名 アートイベントの企画立案に取組んできた阪大生がプレゼンを行い、実施の可能性について語り合います。
	9	金	7:00PM～9:00PM	オルタナティブカフェ「仕事のオルタナティブ」 定員:40名 些細なものから実質的なもの、歴史的なものまで、仕事にはさまざまな意志や意味や価値が隠されている。さて、働くとは?
	14	水	7:00PM～9:30PM	からだトーク「日常の気になる動きコレクション2」 定員:20名 豆腐のパックがうまくはがせない、などをその場でやってみたり、話し合ったりして、日常の気になる動きを考えます。
	16	金	7:00PM～9:00PM	中之島哲学コレージュ 対話セミナー「問答法にチャレンジする」 定員:30名 「問答」は哲学の基本。その問答法を実践してみましょう。いつもゆるい雰囲気は性に合わないという方、大歓迎です。
	22	木	7:00PM～9:00PM	鉄道カフェ「鉄カフェをみんなで考える06」 定員:30名 京阪電車の新旧の鉄道記録映像の上映と建設関係者のご縁め話など。様々な情報交換と対話が繰り広げられています。
	23	金	7:00PM～9:00PM	中之島哲学コレージュ 哲学カフェ「ありのまま、とは?」 定員:50名 今回の議論のテーマは「ありのまま、とは?」。よく聞く言葉ですが、あらためてみんなで考えてみませんか?
	24	土	4:00PM～7:00PM	第1回洪庵塾力カフェ「観光産業学の確立に向けて～大阪の景気浮揚の一助として観光を展望する」 定員:50名 グローバル規模の人材交流による経済特需と位置付けられる「観光産業」を展望。講演を通じて問題提起と討論を行います。

会場／アートエリアB1
参加費／すべて無料
開場／それぞれ開始30分前から

問い合わせ:[カフェの内容について] 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD) ☎06-6850-6111(豊中キャンパス代表) [場所などについて] アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。申し込みは不要ですが、当日先着順とさせていただきます(入退場自由)。お客様参加型のプログラムです。

21世紀の懐徳堂プロジェクト 時間割

ワークショップやカフェ風講座など
中之島周辺の「学びの場」のスケジュール



大阪カルチャークラスター!!

ナカノシマ大学のワークショップ部門として、大阪市内各地のカフェで行われる「大阪カルチャークラスター!!」のスケジュールをひとまとめ。トンガったものから、ソフトなものまで縦横無尽に展開中。

◎各ワークショップについてのお問い合わせはそれぞれの店舗へお願いします。

10月	1	木	7:00PM～9:00PM	坂本宣世／Sue（料理専門学校講師）「翡翠の会」 受講料:3,500円(ご飯付き) 講師が用意したテーマに合わせた「おにぎり」や「お味噌汁」を味わいながら、食にまつわるお話を聞く勉強会です。	会場E
	5	月	7:30PM～9:00PM	樋口ヒロユキ（美術評論家）「美術史はじめの一歩 風景画の歴史（前編）」 受講料:1,500円 現代美術を中心に、古典美術もダンスもパフォーマンスも、ちょっとずつツマミ食いするアラカルト形式の講座。	会場A
	6	火	7:30PM～9:00PM	石原正一（演劇人）「石原正一のヨミすぎ～古今東西名作朗説会～」 受講料:1,500円 落語からシェイクスピアまで、太宰からドラえもんまで、古今東西の名作を参加者全員で読みまくろう。	会場A
	10	土	1:30PM～4:30PM	きくちゆみ（環境活動家）トークイベント「9.11とつくられる戦争」 受講料:予約1,500円、当日1,800円(1ドリンク付き) 9.11事件の嘘をあばく気鋭のライター、きくちゆみさんを迎えて映像を交えたお話を伺い、質疑応答を行います。	会場B
	11	日	4:00PM～ 0:30PM～4:30PM	花柳幻舟（創作舞踏家）トークライブ「人生まんざらすてものでない～生きる事から学んだ私の人生～」 創作舞踏家・花柳幻舟の生き方を語るトーク。舞踏も披露します。 尾崎美穂（革小物作家）「Plain Life 革小物教室」 受講料:5,000円(材料費・テキスト・ドリンク込み) millibar salonでお茶をしながら物作り。基本のカタチに工夫を加えて、あなただけの革小物にチャレンジ!	会場B 会場E
	13	火	7:30PM～9:00PM	ダンカン・ブラザ頓（英語教師）「クリエイターのための英語ワークショップ」 受講料:1,500円 クリエイターのための「使える英語」を、いくつかのシチュエーションの中で英語を使うワークショップ形式で学びます。	会場A
	16	金	7:30PM～9:00PM	鰯坂兼充（グラフィックデザイナー）「本をデザインする」 受講料:1,500円 本（小冊子）の企画の立案から、細部に至る効果的なデザインを組み立てる手法を、手作業を中心にお教えします。	会場A
	17	土	7:00PM～8:30PM	nemi（写真家）「世界が変わる？写真教室」 受講料:2,000円(1ドリンクオーダー制) 難しい写真の技術を知らないても、撮りたいものが撮れる技術をお教えします（ご自身のカメラを持ってご参加ください）。	会場F
	18	日	11:30AM～1:00PM 10:00AM～1:00PM 2:00PM～5:00PM	豊村恵子（料理研究家）「マクロビオティックサロン」 受講料:2,000円(料理費込み) 「Kitchen Macrido」の豊村さんが、マクロビオティックの基本の料理法をご紹介します。 岡山拓（美術家）「トリ・スクール」 受講料:2,500円(1ドリンク付き) 展覧会カタログを参照しながら、初めての人でも分かるようにゆっくり美術史や各種ムーブメントについてお話をします。	会場D 会場E
	21	水	7:30PM～9:00PM	チャンキー松本（アーティスト）「普通の人に必要な絵の描き方講座」 受講料:1,500円 イメージは「会議の資料に入れる、ちょっとしたイラスト」。そんな普通の人に必要な絵の描き方をお教えします。	会場A
	24	土	1:00PM～4:00PM	東和子（インテリアデザイナー）「FIQ WORKSHOP—オリジナルトートバッグのワークショップ—」 お好きな生地を選んで、オリジナルトートバッグを制作していただきます。	会場E
	25	日	1:30PM～3:00PM	笹部朗（ビジネストレーナー）「英会話サロン」 受講料:1,000円 ビジネストレーナー、英会話講師、翻訳などを手掛ける笹部朗さんが開く、英語に親しむサロンです。	会場D
	27	火	7:30PM～9:00PM	三村康仁（アートプロデューサー）「JAPAN★UNDERGROUND Vol.4『色道』」 受講料:1,500円 三村とスペシャルゲストによる日本の文化の影の部分、知られざる部分に焦点を当てたトークライブです。	会場A
	28	水	7:30PM～9:00PM	エサキヨシノリ（広告代理店営業）「情熱の学校プレゼンツ トークの学校」 受講料:1,500円 自分の考え方や想いを相手にちゃんと伝え、また自分の良さを、自分らしく相手の心に届けるためのトークセミナーです。	会場A
	31	土	7:30PM～	「シャベル(shovel)」 受講料:500円 おすすめのモノや場所、温めているアイデアなど、クリエイティブに関するトピックを紹介し合うギャザリングです。	会場C

A コモンカフェ

大阪市北区中崎西1-1-6 吉村ビルB1

☎06-6371-1800 <http://www.talkin-about.com/cafe/>

B ワイルドバナナ

大阪市北区長柄中1-4-7 公ビル1F

☎06-4800-4900 bcwildbunch@ybb.ne.jp

C OOO(オー)

大阪市北区西天満4-1-5 若松町センタービル2C

☎06-6362-5150 oootoawase@gmail.com

E 欧風食堂 ミリバール

大阪市西区立売堀1-17 artniks bld.

☎06-6531-7811 millibar@artniks.jp

F Books Coffee Gallery iTohen

大阪市北区本庄西2-14-18

☎06-6292-2812 ito_hen@skky.info



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です!



『月刊島民』はここでもらえます。

京阪電車関連：京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリック天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋

書店：ブックファースト梅田店／旭屋書店 本店／旭屋書店 梅田地下街店／旭屋書店 堂島地下街店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店／ブックファースト 淀屋橋店／文教堂書店淀屋橋店／福家書店 淀屋橋店／牛生堀書店 大江橋店／紀伊國屋書店 本町店／ジュンク堂書店 天満橋店／アバントBC OMMビル店／紀伊國屋書店 京橋店／隆祥館書店／なんば書店カルチャーコーナー

公共施設・大島関連施設ほか：大阪市中央公会堂／府立中之島図書館／大阪市役所ハウ情報センター／大阪市立中央図書館／大阪歴史博物館／大阪狭山市立図書館／奈良県立図書情報館／大阪国際会議場／市立住まい情報センター／大阪商工会議所／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪企業家ミュージアム／味の素 食のライブラリー／朝日カルチャーセンター／大阪大学中之島センター／大阪大学本部／大阪大学21世紀懐德堂／根津大学地域連携センター／慶應大阪リバーサイドキャンパス／追手門学院 大阪城スクエア／追手門学院 大手前センター／専門学校中の島美術学院／大阪工業技術専門学校／ろうきんギャラリー心斎橋／大阪俱楽部／芝川ビル／N4タワー／マニッシュバビロン／ホテルNCB／ABC朝日放送／大阪フィルハーモニー会館

店舗・飲食店など：お食事処 宗是／江戸前懶料理 志津可／ラ・カッカニヤ／アリアラスカ マープルトレ／MANGUEIRA／TOSABORI SANDWICH BAR／Girond's JR／じろう亭／ミニジロー／黒門さかえ／花かつ／ティーハウスミジカ／MJB珈琲／アンドル勒公園店／あじさい／BAR THE TIME 天神／タバーン・シンソン／バストラーレ／LES LESTON／大西洋服店／上町貸自転車／ザ・メロディ／セブンイレブン大阪証券取引所店／吉田理容所／たまがわ鍼灸整骨院／宮崎歯科／心斎橋山田兄弟歯科／東郷歯科医院／ネイルサロンスワンナ

バックナンバーお譲りします。

昨年8月に創刊した『月刊島民』。大きな支持をいただいていることは、「バックナンバーありませんか?」と月刊島民プレスを訪ねてくる方々の多さからも伝わってきます。さて、そのバックナンバーにつきまして、1冊につき100円をいただくこととなりました。号を重ねていくうちに保管用のスペースが必要となり、そのための維持管理費を負担していただく形です。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。お問い合わせは下記の電話番号まで。

次号予告 シマの収穫祭「大阪マルシェ」

中之島公園が「市場=マルシェ」になった!
中之島に実りの秋の到来を告げる「大阪マルシェ ほんまもん」が、
いよいよ本格スタート! その楽しみ方をたっぷり紹介しよう。

●『月刊 島民』vol.16は2009年11月1日発行です!

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行／月刊島民プレス
若狭健作 納本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 大迫力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社

クラフト作家の発信の場オーブン



弁護士センセが多くいる西天満にギャラリーは多々あれど、シマには意外と少ない。そんな中、国立国際美術館の向かいに「クラフトギャラリーeau(オー)」がオープンした。

「クラフト作品を展示・販売する場が少なくて、作家は苦労している。」と、自身もワイン木箱でリメイク家具を作っている植先淳人氏が発起人となり、仲間を集めてクラフト作品を常設する場を実現。

eauはフランス語で「水」の意味。シマにやってきたのは「全くの偶然」だが、ギャラリー名は「川に囲まれた中之島の特性を意識してのこど。だんだりの法被や大漁旗を柿渋で染めてリメイクしたカバンや、織物、革小物など、作家たちの作品を展示販売。

各々が店に立ち自分の作品を売っているので、作品のよさはもちろん、思い入れも存分に聞くことができる。(田井麻希・本誌)

自分がギャラリーをやるとは夢にも思わなかった。中之島という好立地の場を、仲間と分かち合いたい」と植先氏。一人の作家の思いが形となった。

去る9月10日、平松邦夫大坂市長のトークイベントが行われた。大阪市が推進する「市民協働」のシンボルマークが決定したところちなみに開かれたもので、「水都大阪2009」の会場でもあった市役所玄関ホールにて、「ジャ

イアントトラン」が見守る中、まずは平松市長が犯罪発生件数の低下など、市民協働の成果を報告。平松市長は、

「いつしょに考えまよ」を合い言葉に、大阪を住みよい街にして、その後、マークをデザインした塙嶋榮一さんへの表彰式。また、大阪で暮らしたことをある歌手・SAKURAさんによるミニコンサートも行われた。(大迫力・本誌)



水都大阪2009



8月22日から中之島公園な

どで開催されている「水の都・大阪アピールするイベント

「水都大阪2009」。アーティストのヤノベケンジさんに

よる「ラッキードラゴン」が

川を走ったり、噴水が吹き上

がる様子を目にした人も多い

だろう。様々なアーティスト

が作品を発表したり、ワーク

ショップを行なう「水辺の文化

座」を中心に、朝市やマーケ

ット&カフェ、ナイトプログ

ラムなど、シマのあちこちで

今日も何かが行われている。

そんな水辺の祭典も

イベントを盛り上げていく

とモットーとしているため、

ラストスパートが始まること

10月12日(祝)で閉会。

そろそろライナーが

近づいてきた。アーティ

ストたちが自分たち

で考えながら自発的に

イベントを盛り上げていいく

とモットーとしているため、

見せるのが楽しめた。最後

の3日間はちょうど3連休に

当たるため、土・日・祝限定

のプログラムが行われるので、

まだ足を運んでいない人はも

ちろん、すでに行ったことの

ある人でも「そう言えばあれ

はやつてなかつたな」という

コンテンツがある人はぜひひま

た行ってみよう。

(大迫力・本誌)

ちろん、すでに行ったことのある人でも「そう言えばあれはやつてなかつたな」というコンテンツがある人はぜひひまた行ってみよう。

(大迫力・本誌)

トウミン月報

2009年10月1日発行

大阪名所を漫步する会

大阪が誇る無賴派作家、織田作之助の代表作『夫婦善哉』には、実在の「うまいもん屋」が数多く登場する。主人公の柳吉が芸者の蝶子を連れてしまわるのだが、読んでいるだけで食欲がそそられる。

「ど、ど、どや、うまいやろが、こ、こ、こ、わざヨダレが垂れてくる。こんなうまいもん何処に行つたか食べられへんぜ」などと、柳吉が講釈するのを読むと、思わずヨダレが垂れてくる。

この『夫婦善哉』に登場する「うまいもん屋」のいくつかは、私が中之島で医学生だった70年代にも残っていた。それで私は同級生のT（連載の第二回で、私のカンニングを助けてくれた友人）と二人で、「大阪名所を漫步する会」（以下、漫步する会）というのを作つて、小説に登場する店を巡り歩いた。道頓堀の「いづもや」、日本橋の「たよ梅」、千日前の「自由軒」、法善寺境内の「正弁丹吾亭」などである。もちろん小説

卵をメレンゲ状に泡立てて焼いたもので、二人でも食べきれないほどだつた。

千日前にあった「天丼の店」は、客席6つくらいのカウンターだけの店で、満州帰りという恐いオヤジさんがいた。まず、入口に「勝手な入店はお断りします」と書いてある。店の前にはいつも行列ができるて、時分どきにはかなり待たされる。Tと一人で行つたとき、私が先に食べ終わり、いつしょに出ようと待つていると、オヤジさんが恐い顔で怒鳴つた。

「外見てみい。ようけ待つてるのに、食べたら早よ出て行かんかい」

あかんたれの私は心臓が止まるほど驚き、慌てて勘定を払つて店を出た。あとから出てきたTが苦笑しながら、「この店にはいろいろルールがあるねん。ボクも前に、店に入つてから大盛て頼んだら、並んでるうちに言わんかいて怒られた」と慰めてくれた。

「漫步する会」は食べ物屋ばかりでなく、通天閣や中之島の図書館、高島屋ホールの落語会などにも行つた。

通天閣はさびれていて、展望台には上がつたものの、客は一人もおらず、売店も閉まつたまま、倒産するのではないかと心配した。

帰りにジャンジャン横へ行くと、小さな寄席があつて、出演者の名前が看板に書いてあつた。知らない芸人ばかりだと見ていくと、トリーは

のタイトルになつた「夫婦善哉」にも行き、二つの椀に分けたせんざいを食べた。

「自由軒」はカレーが有名で、店内には執筆中の織田作の写真が飾られ、「トラは死んで皮をのこす 織田作死んでカレーライスをのこす」と書いてあつた。小説に「御飯にあんじょううまむしてあるよつて、うまい」と書かれている「名物カレー」である。ルーとライスがはじめから混せてあり、生卵がのつているのだが、実はこれはあまりおいしいと思えない。だからメニューには「別カレー」と称して、ルーとライスが別のカレーもある。Tによれば、「自由軒」は本格的な下町の洋食屋で、ほんとうにうまいのは、ポークチャップやチキンプロセットなどらしい。だから、「名物カレー」を注文するのはおのぼりさんばかりで、地元の客はほかの料理を食べると言つていた。

この「自由軒」のとなりには、当時、叩き売

「漫步する会」にはもう一冊、バイブルがあつた。カラーブックの『大阪の味』（保育社刊）である。文庫サイズの食べ物屋ガイドで、初版発行は昭和43年。カラーブックスといいながら、半分以上白黒写真で、写つてある客もショールに着物など、古めかしい感じだつた。

この本を参考に、串カツの「知留久」、シチューオの「梅川」、たこ焼きの「蛸乃壺」、とんかつなどの「ほんち」などに行つた。

曾根崎新地の「菱富」では、ラグビーボールほどもある巨大オムレツを食べた。半ダースの

りの店があつて、裸電球の下でテキ屋の兄さんがマイクで盛んに客を引いていた。その口上を聞いているだけでも樂しかつた。特大の目覚まし時計を取り出して、「どや、大きいやろ。これで目え覚めへんかったら、息止まつてるで」などやるのだ。

桂春園治だった。そんな大物が出るなら、もつと目立つように書けばいいのにと思ったが、看板の字は前座からトリまで同じ大きさだつた。それが何となくこの寄席の心意気のように思えて、妙に感心したりした。

寄席の少し先に、屋台風の炉端焼きがあり、そこでビールを飲んだ。目の前にネタが並べてある。羽をむしただけのすずめもあつた。目を閉じた死に顔が生きしい。それでも好奇心の強い私は、試しに注文してみた。おばさんは串刺しのすずめを取り、無造作に炭火で焼つた。できればこんがり焼いてほしかつたのだが、「はい」と出されたすずめは、ほとんど生だつた。目もくちばしもそのままで、生前の面影ありありだ。しまつたと思ったが、もう遅い。私は泣きそうになりながら、腿のあたりだけ食べてギブアップした。

今はもうないが、法善寺横丁の西入口、水かけ不動の斜め前に、「法善寺らーめん」という店があった。店名を大書したアドバルーンみたいな巨大提灯が目印である。その店のカウンターには、一抱えほどもある大どんぶりが並べてあつた。飾りかと思つて訊くと、早食い用のどんぶりだという。3人前を10分で食べたら、只にしてくれるのだ。

私はさつそく試してみることにした。ラーメンは塩、しょうゆ、味噌の三種から選べるので、私は好みのしょうゆを選んだ。すると、目の前

途中で胃が張つて苦しくなり、何度も食道から麺が逆流しそうになつた。そのたびに水で流しこみ、胃をさする。ストップウォッチを気にしながら、店員の「スープは最後まで飲んでもらいまつせ」などのチャチャヤにも負けず、私は息も絶え絶えに、9分52秒で完食した。

早食いに成功すると、記念に店に貼る短冊を書かせてくれた。私は迷わず「大阪名所を漫步する会・K……」と書いた。

「漫步する会」はその後、卒業試験の真っ只中でも、気晴らしと称して続けられた。そして、実は、今も密かに続いているのである。



市民の学問所「懐徳堂」

妙な看板が上がりましたな。ここは確か醤油商いの道明寺屋さんの隠居所と違いましたかな」「そうですな。『懐徳堂』とありますな。懐に徳ですか……

損得勘定の得やおませんな。使いに忙しい丁稚や手代達の間でそんな会話が交わされたのが船場の尼崎町（現・今橋四丁目）。享保9年（1724）の5月でありました。

「やあ皆さん、学問所を拵えました。

夕方に乗る京阪電車はせつない。そう思うようになったのは大阪へ仕事や飲みに行くようになってからかも知れない。夕方だけではなく、京阪には夕方という時間帯以上に「せつなさ」「やりきれなさ」が染み込んだゾーンがある。なぜせつなくなるのかよくわからないけれど、祇園四条から電車に乗り七条を過ぎて電車が地下から地上に出てくる頃から徐々にせつなくなる。そして東福寺辺りから電車は空を目指すかのようにずいぶんと高い所を走り、ゆっくりとカーブしながら地上に降りてゆく。銀河京阪のようだ。俺はこの、東福寺と鳥羽街道のあいだの空に向かうこのカーブの頂上あたりで「このままでどこかに行ってくれ」的なことを何度も思ってきた。

どなたでも学ぶ事が出来ますから」と、

「誰と言つたらお金もヒマも要りますが、

ワテラは奉公人で……」「あれを御覧なさい」

と道明寺屋が指をさす。そこに記して

「旦さん、金儲けに学問はいらんのと

違いますか？」ニッコリ笑つた吉左衛

門「私も以前はそない思つりました。

けど、衣食足りて何とやら……心を満たす事の大しさを痛感しました。で、私は三宅石庵先生の塾に学びました。

けど、学ぶ程に将来の大坂を考えました。

若い人達にこそ学んで貰わんと大坂は萎んでしまう。それで同志と作りました

「たんじや」

「華と言つたらお金もヒマも要りますが、

どなたでも学ぶ事が出来ますから」と、

「誰と言つたらお金もヒマも要りますが、

ワテラは奉公人で……」「あれを御覧なさい」

と道明寺屋が指をさす。そこに記して

「旦さん、金儲けに学問はいらんのと

違いますか？」ニッコリ笑つた吉左衛

一、講義中、店の用事で退出しなければならない時は静かに出る事。

一、学生達に身分の上下はなく、侍も聴講して良いが、区別はせぬ。

一、月謝は自分の裁量で出せば良い。

一、大阪の人が若者を育てようと立ち上げた瞬間である。今、その気風が大阪にあるか。学力テストの結果は大

阪の大人の「懐」に「徳」があるかど

うかが問われているに違いない。

日本生命保険株式会社
きょくどうなんかい
1964年、兵庫県加古川市生まれ。大阪大学卒業
前（1989年）に代田旭堂南陵に弟子入り。1
998年大阪市より「咲くやこの花賞」受賞。得意
ネタに「太閤記」「難波戦記」「浪花侠客伝」「天
満宮験記」など。



懐徳堂を偲ぶ石碑は、かつて尼崎町と呼ばれていた、日本生命大阪本社ビルの一角にある。町人の学問所のあった場所が、現在の大坂経済の中心になったわけだ。

また来ても、中之島。あー。パッキー。イノウエ

其の五 人生は京阪電車とともに。



夕方に乗る京阪電車はせつない。そう思うようになったのは大阪へ仕事や飲みに行くようになってからかも知れない。夕方だけではなく、京阪には夕方という時間帯以上に「せつなさ」「やりきれなさ」が染み込んだゾーンがある。なぜせつなくなるのかよくわからないけれど、祇園四条から電車に乗り七条を過ぎて電車が地下から地上に出てくる頃から徐々にせつなくなる。そして東福寺辺りから電車は空を目指すかのようにずいぶんと高い所を走り、ゆっくりとカーブしながら地上に降りてゆく。銀河京阪のようだ。俺はこの、東福寺と鳥羽街道のあいだの空に向かうこのカーブの頂上あたりで「このままでどこかに行ってくれ」的なことを何度も思ってきた。

子供の頃、学校に行かずに目的もあつてないまま乗った京阪の各駅停車。朝の通勤通学ラッシュ時のあの10時頃、急いでいる人のいないがらんとした電車に乗って窓から外をジッと見ていた。しくじったことを謝りに行く時に乗ったハタチの頃もこの空に向かう銀河京阪ゾーンが、過ぎて現れる現実、向かえようとする時間を何やら象徴しているようだった。あっちこっち。大人になってからもこのカーブを京阪電車がゆっくりと越える時、俺はいつも「遠いとこまできつてもた」と声を出さずに呟いている。

今、俺はその京阪に乗っている。午後5時半。これからは何の予定もない。どこで下車しようが誰にも文句は言われない。さびしい話。深草で降りても中書島で降りて宇治線に乗り換えて京橋まで行っても俺はどこでも降りられるけれど降りることが出来ない。用事がないとその駅で降りることが出来ないよう俺はプログラムされているからだ。例えば中書島にあった串カツ屋「おやじ亭」があれば中書島で降りられるが、今は降りることが出来ない。だから俺は「櫻鮨」のある淀屋橋か「リーチバー」のある中之島でしか降りることが出来ない。せつな。

ぱっきー・いのうえ 京都・錦市場の漬物店「錦・高倉屋」店主にして日本初の酒場ライター。雑誌「Meets Regional」などで名フレーズを量産中。近著「京都店特撰」が絶賛発売中。

シマノネタ
シマにまつわるあれこれの名刺を勝手にデザイン
ワタクシ、こういう者です。
デザイン/長友啓典



これからよろしくお願ひします。
大阪マルシェと言います。
どうも、はじめまして。え、マルシェって何?
まあ、その…平たく言えば市場です、市場。
泉州とか丹波とか和歌山とか、
地元のものを集める産直市場ですね。
そうですそうです、水茄子とか南瓜とか栗とか出るんです。
野菜の他に、お肉や魚もありますよ。
農林水産省が作ったものでね、全国に系列会社があるんです。
作った人がそのまま持ってきてるし、そら新鮮ですよ~。
だから正々堂々「ほんまん」と言ってるわけです。
「ほんまん」って、どんなもん?
とにかく、いっぺん寄ってみてください!
作り手の「気持ち」が伝わってきますから!

「ほんまん」
大阪マルシェ

中之島本社
大阪市北区中之島公園女神像前
電話
06-4799-1340
06-4799-1341
営業時間
毎週水曜 6:00~20:00
毎週土曜 9:00~13:00
◎日曜日も営業する場合があります。

○名刺のコロロ

大阪育ちの僕としては、子供の頃、生駒の山を背にして見た阿倍野からの夕陽を忘れることが出来ない。「夕陽ヶ丘」という地名があるくらいやもんね。終戦の時に小学校に入学。当時、大阪市内は見渡す限り焼け野原やったなあ。地平線に沈む夕陽を見て、明るい明日を夢見てた。このマークもそんな夢いっぱいの夕陽をイメージして作ってみたん。

ながとも・けいすけ

1939年大阪生まれ。1964年日本デザインセンター入社。1969年黒田征太郎とK2設立。エディトリアル、各種広告を手がけるほか、多数の小説に挿絵、エッセイを連載。自分が手がけた名刺デザインをまとめた『成功する名刺デザイン』(共著・講談社)も発売中。

西梅田・ブリーゼ・ブリーゼから!
「大阪マルシェ ほんまもん」
本格スタートの
トップを飾るのは、
西梅田の「ブリ
ーゼブリーゼ」
で開かれるオ
ープニングマルシ
エから。参加す
る生産者の中か
ら選りすぐられ
た店舗とともに、
最上階に入る世
界一ミシュラン
の星を持つフラン
ス料理界の巨匠、アラン・デュカス氏が
手がける仏料理「ル・コントワール・ド・
ブノワ」のブースも登場する。「ブノワ」と
言えば、すべての料理に地元の食材をふん
だんに取り入れ「大阪テロワール」を実践
するレストラン。実際にレストランで提供
されているメニューに使われる素材を手に
取り、そして試食ができる。「マル
シェ」に並ぶ旬の食材に合わせ、メニューあ
りきではなく素材ありきで料理を構築したい
と山本良樹総支配人。世界一のシェフは、
関西の誇る食材を使ってどんな料理を生み
出すのか、こちらも楽しみだ。



西梅田・ブリーゼ・ブリーゼから! キックオフは10/2(金)、

2009年6月、東京・銀座の「ベージュ アラン・デュカス 東京」にて行われたマルシェの様子。こんな「美味しい」光景がもうすぐ中之島にもやって来る。

10月のほんまもんカレンダー

※小雨決行、荒天中止とさせていただきます。※開催時間は諸事情により、急きよ変更になる場合があります。
※主催者側では駐車スペースをご用意しておりません。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日曜日は
大阪市内各地で

中之島公園
9:00~14:00

水曜日は
「中之島夕市!」
@中之島公園
16:00~20:00

土曜日は
「中之島朝市!」
@中之島公園
9:00~14:00

高津公園(予定)
10:00~15:00



マルシェ

マルシェとは、フランス語で「市場」。農家や漁師の人たちが
どれだけ新鮮な野菜や魚、肉が
持つて広場に集まり、客はそれを
あれこれやり取りしながら買っていく。
ヨーロッパでは当たり前のそんな光景
を日本にも生み出したいと、農林水産
省が旗振り役となつて始めたのが「マル
シェ・ジャポン・プロジェクト」だ。

中之島公園が 市場になる!

安心・新鮮・正直・美味しい、
「地元もん」の野菜や魚、肉が
集まる人情市場。



イラスト/奈路道程



「マルシェ・ジャポン・プロジェクト」とは

農林水産省が平成21年度補助事業として、2009年9月より全国13地域の政令指定都市で実施するプロジェクト。都市生活者と生産者を直接結びつけることにより、生産者の所得と意欲向上、都市に新たな文化と潤いの空間を創造、地域コミュニティの活性化などをテーマに、公共スペースにおいて農林水産物を販売する仮設型直売システム普及事業のこと。

また、作った人たちと交流する中で、「テロワール」即ち風土・気候・地理など、土地の持つ個性も知ることができます。食べ物やそれが生まれた土地のことを知った上で買う。そしてそれを食べて「美味しい!」と実感する・生産者と消費者が出会う大阪的・人情市場が「大阪マルシェ ほんまもん」の理想像なのだ。

その一環として、中之島公園でも「大阪マルシェ ほんまもん」が10月からスタートする。泉州や和歌山、丹波、淡路島など、近畿各地から生産者が集まり、1回の開催につき約30軒が出店。産地直送の野菜や魚、肉、玉子、乳製品などを大阪のど真ん中で会社帰りや散歩ついでに気軽に買えることができる。「ほんまもん」をキャッチフレーズにするのは、並ぶという自信ゆえ。作り手が直接「持ち」を伝えられる市場であることもこだわりのひとつだ。



大阪マルシェ

「ほんまもん」通信

vol.1
2009.10.1



「ほんまもん」って何ですか?
継続し得るもの、
発展の可能性を
秘めているもの。
そういう「風雪に
耐えられるもの」かな。

淡路島・倭文 甲南醸造所 橘真さん(44)

新規就業者の多い農業だが、橘さんほどユニークな経歴も珍しい。関西において「伝統料理を確立した」と言われるグランメゾン・ジヤン・ムーラン」の元ソムリエ。その後、ワインバー店主などを経て、今年の4月から淡路島に移住し本格的に農業を始めた。いきなりのことに周囲は驚いたが、本人はあっさりしたのだ。思い切った? でも、ずっと飲食店をやっていて、流通にも携わって、拡大解釈したら同じことやつてるだけ云々云々。

自ら作りたいと思った背景には、野菜の「画のワインにも同じような状況がある」。大阪マルシェには、近隣の農家とグループで出店する。「まずは一般的な野菜から。様子を見ながらチリメンキヤベツとかヒメダイコンとか珍しいもの混ぜよかな」。嬉しけつていう気がするけど(笑)。



淡路島へは奥様も一緒に。最終目標であるワイン作りは今月からブドウ畠の整備を始め、許可関係なども含め5年先のスタートを目指している。



「ほんまもん」って何ですか?
土や水から手間をかけて、
ゼロから作ったものが
「ほんまもん」やと思います。

貝塚市・三ツ松 西阪農園 西阪和正さん(22)

「本物の野菜の味を知つてもらえる」。大阪マルシェのことを聞いたとき、西阪和正是さんはそう直感したそうだ。若手農業家が集まる「貝塚4Hクラブ」の一員として出店する西阪さん。若さゆえのフットワークもあり、地元ラジオ局とタ



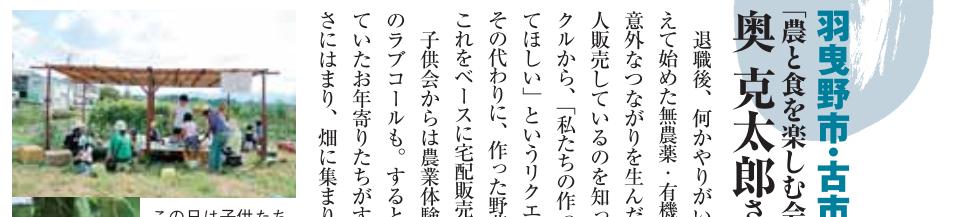
私の「これが「ほんまもん」で、一体どんな生産者の人が出るのはそここのところ。あなたにとつての「ほんまもん」は? を聞いてきました。

やっぽり「番気になるのはそここのところ。あなたにとつての「ほんまもん」は? を聞いてきました。

9月12、13日に北加賀屋の名村造船所で行われた音楽&アートイベントにも出店。水茄子に蜂蜜をかけた「峰水なす」は大人気。シンプルなアレンジでも旨いのは、野菜の新鮮さがそこそこかかる。

野菜はこんな風にして作つたんです」とお直壳を行う「VEGE☆NIGHT」を企画したり、音楽イベントに野菜スイーツのブースを出店したり、「本物の味」を知つてもらう活動にも積極的に取り組む。「この

農業系短大を卒業後、すぐに30年以上続く家業である農業の道へ。今年からは種蒔きを任されるようになつた。「美味しいのができたら友達を田んぼに呼んだり。トウモロコシとかかじらせて『どう、うまいやろ?』って」。そんな自己に認める根づかの「農業好き」の熱い想いはすでに中島へ。「農作物は適当に作つても形にはなる。でもどんな育て方をしたかで同じ野菜でも味は全然違う。それを伝えたいんですよ」。一番の自信作は鍋の季節にはたまらない春菊だ。



羽曳野市・古市 奥克太郎さん(68)

退職後、何かやりがいのあることをと考えて始めた無農薬・有機栽培による農業は、意外なつながりを生んだ。作った野菜を無人販売しているのを知つた近所の主婦サークルから、「私たちの作った有機肥料を使つてほしい」というリクエストがあつたのだ。その代わりに、作った野菜を貰つてもらえる。

これをベースに宅配販売が始つた。

子供会からは農業体験をさせてほしいと

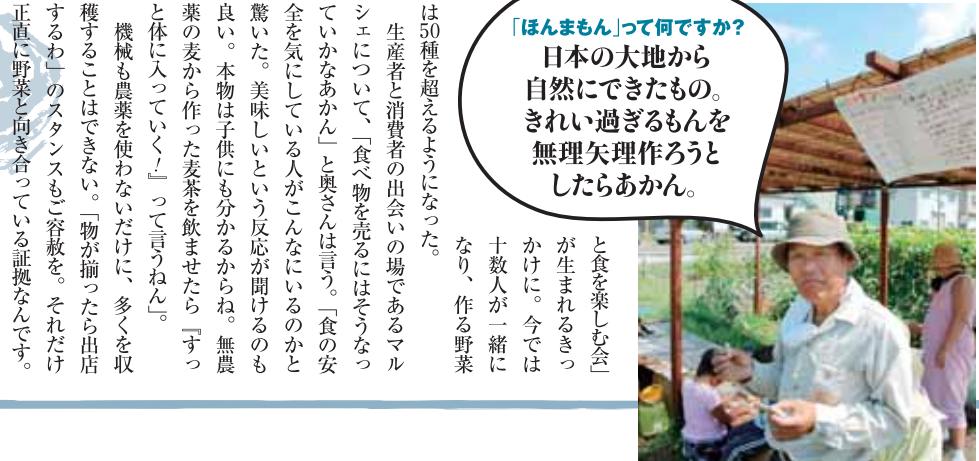
のラブコールも。すると、それに付いて来ていたお年寄りたちがすっかり農業の面白さにはまり、畠に集まり出す。これが「農

さにはまり、畠に集まり出す。これが「農

さにはまり、畠に集まり出す。これが「農

」日本の大地上から自然にできたもの。自然に過ぎるもんを無理矢理作ろうとしたあかん。

と食を楽しむ会」



大阪マルシェ「ほんまもん」サポーター大募集!

大阪マルシェは、生産者の方々に変わつて会場での販売のお手伝いなどをして下さるサポーターを募集しています。

◎作り手の熱い思いをくみ取り、それを伝えられる

◎週に1回など、定期的に手伝うことができる

◎謝礼は1日につき¥3000

どこでやつてるの?
うちでもマルシェをやつてよ...

お問い合わせはなんでも
マルシェ・ド・大阪テロワール実行委員会(事務局)
☎072・415・4500

まずは事務局までお電話下さい!

機械も農薬を使わないだけに、多くを収穫することはできない。「物が揃つたら出店するわー」のスタンスもご容赦を。それだけ正直に野菜と向き合つている証拠なんです。

日本初の、にぎわい空間、中之島バンクス

水・遊・空・間

2010 Spring GRAND OPEN

NAKANOSHIMA BANKS

テナント募集中

●お問い合わせはこちらまで
シービー・リチャードエリス株式会社
大阪本社 リテールサービス部（担当：金星）
TEL 06-6261-2115

京阪電車「中之島線・中之島駅」直結

www.nakanoshima-banks.com

桂 今日は田蓑橋を取り上げてみます。
み江 南側の橋詰にダイビル、北側に
ほたるまちや朝日放送。なかなかいい
場所にありますね。でも橋はノーマル
というか、若手地味ですね。

桂 昔は派手だったんですよ。大正13
年（1924）に淀屋橋と大江橋が対
象の「デザインコンペ」があったでしょ。

み江 ああ、そうらしいね。

桂 それで3位になった案を基にデザ
インした橋が架かつてたんです。

み江 現在の橋は、建て替えですか？

桂 建て替えたとも言えるし、建て替
えていないとも言えるし…。

み江 何、その微妙な言い回し。

桂 基礎だけ
昔のを使って
るらしいんですよ。実は、

み江 基礎ってどの部分ですか？

桂 橋脚や橋台を支えるもの、つまり
橋と地盤をつなぐ構造体です。

み江 では川の中に埋まっていて、見
えないんじゃないでしょうか？

桂 その通り。

桂 そして橋脚の位置にバルコニー。
これは戦前の姿を少しでも留めようと
いう気かいの表れです。

み江 本当に気づかいレベルですね。

桂 ここで曲線的なデザインが少しで
も継承されたことが重要。なにしろ昔
は北東側のNTT関係のビル群が並ぶ
あたりに、大阪中央電信局があつたん
です。山田守設計で昭和2年築。

※1 デザインコンペ
ライターユニット。当時としては珍しい橋の意
識ガガイドなど、独断と偏見に満ちたコンテンツの溢
れるHPも必見。

※2 大阪中央電信局
1924年に行われた、當時としては珍しい橋の意
匠設計を公募するコンペ。一等案は淀屋橋、大江橋
に、「三等案は田蓑橋へとデザインが応用された」
と評された。

※3 バラボラ
1924年に完成した名建築。19
66年に取り壊された。田蓑橋の北東詰あたりに残
るバラボラをモチーフとする記念碑が往時をのば
せる。



駅からすぐの海外旅行、
おいしく満喫しちゃいましょ。



ポルトガル料理 ポルトガリア
森小路けい子・音大生

中之島、おいしい異国玉へ

世界各国のお料理が身近に楽しめる、このシマヘ。京阪電車に乗って。

南インド料理
チャウク
06-6453-0020
◎中之島駅下車



オランダ料理
オーデ・カース
06-6361-3292
◎大江橋駅下車



フランス料理
リバースイート大阪
06-6966-5110
◎天満橋駅下車



南米ペルー料理
ラテンキッチンズコ
06-6341-0945
◎渡辺橋駅下車



イタリア料理
トラットリア・コニタイ
06-6363-6338
◎なにわ橋駅下車



ポルトガル料理
ポルトガリア
06-6362-6668
◎大江橋駅下車



タイ料理
タイレストランメサイ
06-6357-1678
◎なにわ橋駅下車



**中之島から、
きょうはどの国に行こうかな?**



京阪の
おけいはん
るはん。

おけいはん 検索
www.okeihan.net